

新宮山彦ぐるーぷ第2353回

行仙宿の巡回整備

◇実施日 3月2日(日) 曇り時々雨

◇参加者 梶野照雄 1名

朝起きると小雨が降っていた。雨雲レーダーを見ると近畿南部は雲が少なく、午後はやみそうな気配だ。

昨年に補給路の岩場に橋台を造り、橋桁にする5mの板も準備していた。R425の冬季通行止めも解除されたので通行状態の確認も兼ねて橋桁の設置準備を行った。



通行止めは解除



雪は残っていない



雨は止んだ

2月には国道にも林道にも雪が残っていたが、3日ほど暖かい日

が続いたので、路面の積雪は全くなかった。登山口に着き屋根シートにたまった雨水を捨てようとしたが、まだ氷が溶け切っておらず、重すぎて断念。電気カンナとザックを積んで登りだす。傘も持ってきたが登りだす頃には雨も止んでいた。コジマハウスからコードリールを持って小屋に向かった。



気温は12℃



カンナで削る



厚さを揃える

小屋に着いてストーブに火を入れ、昼食を摂る。玄関脇の温度計は12℃だった。食後、お堂の前までコードリールを伸ばして発電機を動かす、板の一面をカンナで削ってほぼ平面にした。反対側の少し厚い部分をチェーンソーで切り取り、5cmほどの厚さに揃えた。メジャーを持って架橋現場に降り正確な長さを測った。4.5mだった。小屋に戻り板を4.6mの長さに切りロープを付けて引きずりながら現場に運んだ。一度に動かせる距離は60cm程度だが現場までは60m程なので時間はかからなかった。橋台に渡してみると

ピッタリと収まる。補給路の谷側が崩れやすいので、あと2枚欲しいところだがお堂前には1枚しか無い。もう一枚作る必要があると思うだ。



引きずって運ぶ



ピッタリ！



本日の参加者

小屋に戻って残りの一枚も厚さを揃え始めたが、チェーンソーの燃料切れと、午後4時前になったので作業を終了して下山した。

(記；梶野)

行動タイム

浦向ゲート口：10→11：32 補給路登山口→12：04 コジマハウス→
12：17 行仙宿 16：05→16：13 コジマハウス→16：30 補給路登山口